

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
第89期第2四半期連結累計期間の事業内容をご報告申し上げます。

当期の市場環境は、アウトドアレジャー需要が落ち着き、中国経済回復遅れなどもありましたが、大型船外機や二輪車需要は堅調に推移しました。売上高は、サプライチェーンの混乱が生じた前年に比べ供給量が改善したことで、増収となりました。

営業利益は、販売台数の増加に加え、原材料などコスト高騰に対する価格転嫁の効果拡大により、増益となりました。円安によるプラスの効果もあり、第2四半期連結累計期間における売上高・各利益はともに過去最高となりました。

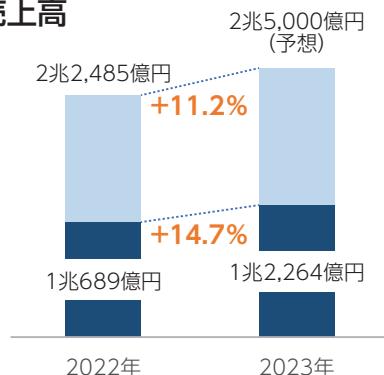
2023年12月期通期の売上高・各利益につきましては以下のとおり上方修正し、当期の年間配当金額予想を年間145円、中間配当は72円50銭と決議いたしました。

株主の皆様には、なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

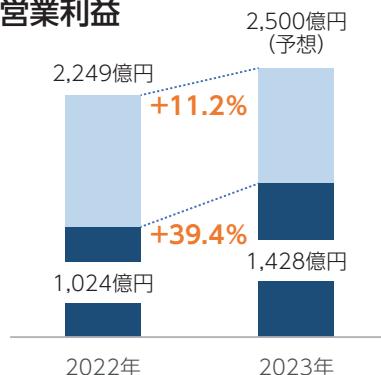
2023年9月 代表取締役社長 日高祥博



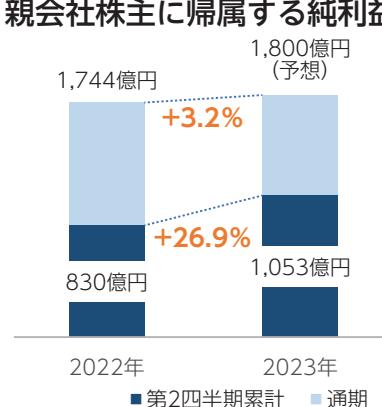
売上高



営業利益



親会社株主に帰属する純利益

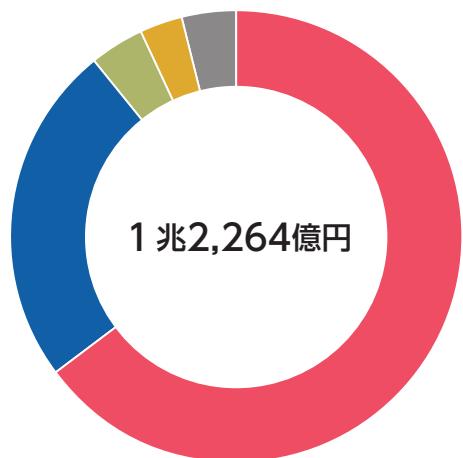


2023年12月期通期連結業績予想

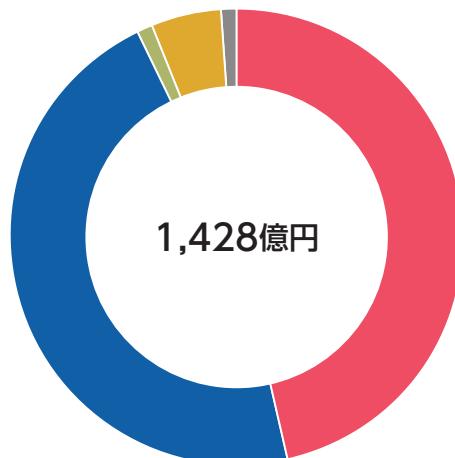
	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	換算レート (ドル・ユーロ)	年間配当金
当初予想 (2023年2月)	2兆4,500億円	2,300億円	2,300億円	1,600億円	125円・135円	130円
修正予想 (2023年8月)	2兆5,000億円	2,500億円	2,500億円	1,800億円	135円・145円	145円
(参考) 前年実績	2兆2,485億円	2,249億円	2,393億円	1,744億円	132円・138円	125円

セグメント別の業績（第2四半期連結累計期間）

売上高・構成比



営業利益・構成比



- ランドモビリティ
- マリン
- ロボティクス
- 金融サービス
- その他

ランドモビリティ 売上高7,950億円（前年同期比1,063億円・15.4%増加） 営業利益694億円（同327億円・88.9%増加）

二輪車事業では、欧米において需要が引き続き堅調に推移しました。新興国では経済回復が進み、アジアを中心に多くの国で需要が増加しました。当社の売上高は、インドネシア・ブラジル・フィリピンなどで販売台数が増加したことで増収となりました。営業利益は、販売台数増加に加え、価格転嫁の効果拡大や円安によるプラス効果により、増益となりました。

RV事業（四輪バギー、レクリエーション・オフハイウェイ・ビークル（ROV）、スノーモビル）では、アウトドアレジャーブームにより急増した需要の落ち着きに伴い、出荷が減少しました。一方、前年に新型コロナウイルス感染症拡大で悪化した米国工場の生産効率改善に加え、円安によるプラス効果もあり、増収・増益となりました。

SPV事業（電動アシスト自転車、e-Kit、電動車いす）では、市場で在庫調整が継続しており、当社も生産調整を行いました。一方、上海ロックダウンの影響を大きく受けた前年と比較するとe-Kitの販売台数が増加し、増収・増益となりました。

「NIKEN GT」をモデルチェンジして発売

大型スポーツタイプのLMW*モデル「NIKEN GT（ナイケン ジーティ）」をモデルチェンジし、受注生産にて発売します。なお、全国の「NIKEN」取扱店にて予約を受け付けています。

*Leaning Multi Wheel。モーターサイクルのようにリーン（傾斜）して旋回する3輪以上の車両の総称。



セグメント別の業績（第2四半期連結累計期間）

マリナー 売上高2,998億円（前年同期比438億円・17.1%増加） 営業利益684億円（同188億円・38.0%増加）

欧米の中小型船外機の需要に落ち着きが見られましたが、大型船外機の需要は引き続き堅調に推移しました。東南アジアや中国では、漁業・観光市場の回復により好調な需要が継続しました。当社は、北米で大型船外機の販売が増加した一方、欧州での販売が減少した影響で、船外機全体の販売台数が減少しました。ウォータービークルでは、強い需要が継続したことに加え、米国工場の生産効率が改善し、販売台数が増加しました。円安によるプラス効果もあり、マリナー事業全体で増収・増益となりました。

スポーツボート「275SDX」を新発売

スポーツボート最大モデルとなる「275SDX」は、卓越した走行性能と、ゆとりある快適な居住空間を特徴とするスポーツボートのフラッグシップモデルです。新操船デバイス「DRIVE X」の採用で抜群の操縦性を実現しました。



ロボティクス 売上高460億円（前年同期比118億円・20.4%減少） 営業利益4億円（同78億円・95.3%減少）

サーフェスマウンターは、先進国で車載・産業機器向けの需要が堅調に推移しました。当社は、中国経済の回復遅れ、スマートフォンやパソコンなどの民生機器向け需要減少の影響を受け、中国・台湾・韓国で販売が減少しました。半導体後工程装置も、民生機器需要が依然低迷している影響を受け、販売が減少しました。その結果、ロボティクス事業全体で減収・減益となりました。

クリームハンダ印刷機*の新製品「YRP10」を新発売

「YRP10」は、高速・高精度なハンダ印刷と、段取り替えの全自動化を実現し、さらにデュアルレーン生産にも対応した新型プレミアム印刷機です。業界トップレベルの高品質の印刷精度を実現しました。

*微細なハンダ粒子と粘性流体フラックス&バインダを練ったクリーム状のハンダ製品をスキージ（ヘラのような道具）でプリント基板の上に塗布する装置。リフロー硬化炉で加熱することでハンダが溶けて表面実装方式の電子部品をプリント基板に接合する。



金融サービス 売上高385億円（前年同期比105億円・37.4%増加） 営業利益43億円（同50億円・54.2%減少）

販売台数の増加に伴い、全地域で販売金融債権が増加し、増収となりました。一方、急激な金利上昇の資金調達コストへの影響に加え、債権増加に伴う貸倒引当費用の増加、ブラジルなどでの金利スワップ評価損の発生により、減益となりました。

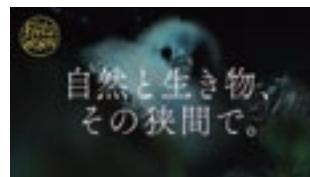
その他 売上高472億円（前年同期比87億円・22.6%増加） 営業利益3億円（前年同期：営業損失14億円）

米国工場の生産効率改善によりゴルフカーの販売台数が増加し、増収・増益となりました。

SDGs映像シリーズ「FIELD-BORN」

社会課題の解決に向けたさまざまな取り組みを紹介するSDGs映像シリーズ「FIELD-BORN」。その第6弾として「自然と生き物、その狭間で。」を2023年4月に公開しましたのでぜひご覧ください。

<https://global.yamaha-motor.com/jp/stories/field-born/>



統合報告書2023を発行

統合報告書2023を発行いたしました。当社ウェブサイトよりぜひご覧ください。

<https://global.yamaha-motor.com/jp/ir/integrated-report/integrated2023/>



株主アンケート結果のご報告

2023年3月に実施いたしましたアンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。2,367名の方にご回答いただきました。アンケート結果の一部を当社ウェブサイトにてご報告させていただきます。

<https://global.yamaha-motor.com/jp/ir/shareholder/survey/>



株主総会資料の電子提供に関するお知らせ

当社は、2023年3月に実施した定時株主総会より、株主総会資料の電子提供を開始いたしました。

次回以降の株主総会資料を書面で受領することをご希望の株主様は、株主総会の基準日（定時株主総会の場合は12月31日）までに所定のお手続き（書面交付請求）を完了することにより、書面で受領することが可能です。

書面交付請求の手続き方法

- 証券会社にお申し出の場合は、当社株式の口座を開設している証券会社にお問い合わせください。
- 株主名簿管理人（三井住友信託銀行）にお申し出の場合は、下記にお問い合わせください。
三井住友信託銀行 証券代行部
0120-533-600 受付時間9:00-17:00（土・日・祝日および12/31～1/3を除く）

ヤマハ発動機株式会社

〒438-8501 静岡県磐田市新貝2500番地
電話 0538-32-1145

<https://global.yamaha-motor.com/jp/>

